

疾患別診療計画書

(右・左)人工関節置換術①



経過	入院	術前日	手術日		1日目	2日目	3日目
			術前	術後			
治療薬剤 (点滴・内服)	痛みが強い時は、坐薬や痛み止めを使用します。看護師までお知らせ下さい。 以前より使用している薬を薬剤師または看護師にお知らせ下さい。 抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいた場合は、手術の為に中止します。	・外来で麻酔科受診が済んでいない方は診察があります。	術前から点滴を入れます。(午前中手術予定の方は手術室で入れます。) 手術中に抗生剤の点滴を行います。静脈血栓予防のため弾性ストッキングを使用します。	手術後、5時間酸素をします。帰宅後、1回抗生剤の点滴をします。 血抜きがはいつてくる場合があります。	抗生剤の点滴を2回行います。	適宜傷の消毒を行います。	
検査					採血を行います。	適宜、採血やレントゲンの検査を行います	
処置			前開きパジャマに着替えます。	血栓予防のための器械を足につけてマッサージをします。(翌朝)			
食事 (栄養士による指導も含む)	症状に合わせて食事を出しますアレルギーがありましたら気軽にお伝えください。	21時以降は麻酔科の指示で食べ物を食べることは出来ません。	飲水は朝の3時まで可能です。	帰宅後、5時間後から飲水が可能となります。	吐き気がなければ朝から食事が食べられます。症状に合わせて食事を出します。		
安静度	特に制限はありません。			手術後はベッド上安静になります。ベッドが30度まであげられます。(痛くない範囲で行いましょう)横向きは看護師がついて行きます。	歩行器で歩く練習を出来る範囲で頑張ってやりましょう。 初めて歩くときは医師がつきます。		
リハビリ (OT・PTによる指導を含む)	手術前にリハビリ室で股関節の術前評価を行います。 その他、車椅子や歩行器の操作練習、筋力トレーニングを行います。				病棟でリハビリを行います。歩行器を使用して、歩行する練習をおこないます。		リハビリ室でのリハビリを開始します。
清潔	制限はありません。	入浴をします。	朝、洗面、歯磨きは行ってよいです。ただし水は飲まないようにしてください。		タオルで体を拭きます		
排泄				排尿は管が入っているためベッドから降りる必要はありません。大便是ベッド上で排泄していただけます。	排尿の管を抜きます。 管が抜けてからはベッド上で便器又は尿器を使用できますが、できる限り歩いてトイレで排便、排尿をしましょう。		
準備物品	着替え3~4枚(面会の方が来られる日数に合わせて)準備してください。 手術時に履く弾性ストッキングのサイズを看護師が測定します。						
患者様及びご家族への説明	◎看護師が入院生活について説明します。 ◎薬剤師が薬について説明します。(術前、後) ◎レンタルパジャマ・ランドリー利用希望の方は看護師へお伝えください。 ◎看護師より手術前のオリエンテーションを行います。	麻酔承諾書にサインし、看護師に渡してください		手術が終わった時点でご家族に医師から手術についての説明を行います。ご心配な点や不安なことがありましたらご相談ください。	頭痛、吐き気のある場合はお申し出下さい。		

人工膝関節置換術②

経過	4日目～6日目	7日目～10日目	11日目	12日目	13日目	14日目	15日目	16日目	17日目	18日目	19日目
治療 薬剤 (点滴,内服)	静脈血栓予防のため 弾性ストッキングを使用 します。										
検査	医師の指示により採血と レントゲン撮影を適宜行 います										
処置			傷のテープをはがし ます。								
食事 (栄養士による 指導も含む)											
安静度							医師の許可にて退院可 能です。			退院	
リハビリ	T字杖で歩く練習をし ます。 階段の練習もしまし ょう。 生活での注意点など を説明します。										
清潔	タオルで体を拭きま す。	医師の許可にてシャ ワー浴が可能とな ります									
排泄	できる限り歩いてト イレで排便、排尿を しましょう。										
準備物品											
患者様及び ご家族 への説明	シャワー浴の方法を 看護師より説明 します		病棟で退院後の生活 指導が始まります			◎退院、転院の説明 (必要に応じ、ケー スワーカーによる 医療相談生活面の 退院指導)					